

## ～上部消化管内視鏡検査を受けられる患者様へ～

### 検査目的

上部消化管にできる病気（炎症、潰瘍、ポリープ、がん、食道静脈瘤など）を見つけ、適切な治療方法を考えます  
（食道、胃、十二指腸）

### 検査方法

#### 経口の場合：準備 5 分→検査時間 5 分程度

- ① 胃の中を見やすくするシロップを内服
- ② 胃の動きを落ち着かせる筋肉注射（ブスコパン）
- ③ のどをゼリー状の麻酔薬で麻酔
- ④ 内視鏡を口から挿入し観察

#### 経鼻の場合：準備 20 分→検査時間 7 分程度

- ① 鼻の通りをよくする薬剤を噴霧
- ② 胃の中を見やすくするシロップを内服
- ③ 鼻からゼリー状の麻酔薬を注入
- ④ ステックを通りのいい方に入れて、入るかの確認
- ⑤ 内視鏡を鼻から挿入し観察

※鼻からのカメラの方が、  
嘔吐反射が起きにくく、楽に検査が受けられます

※ 鼻から入らない場合は、経鼻用のカメラで  
口からの検査に切り替わる場合があります

### 注意事項

必要ならば小さな組織を採取し、顕微鏡検査に出します（生検と病理組織検査）。

採取するときの痛みは特にありません。

生検した方は、**検査翌日より 3 日間**、飲酒や激しい運動、香辛料のきいたものは  
出血の原因になりますので控えてください。

検査終了後、のどの麻酔の効果がある程度とれるまで、1 時間ほど飲んだり、食べたりできません。

### 食事について

検査前日：夜 7 時まで**に食事**を済ませて、以降は水かお茶のみ

検査当日：絶食 水かお茶のみ ※喫煙される方は、朝から禁煙してください

### 内服薬について

血栓予防の薬や、糖尿病の薬など、中止指示のあった薬は休薬 ※（ 月 日 \_\_\_\_\_ は休薬）

普段朝食後に内服している薬は起床時に内服

### 偶発症について

- ・のどの麻酔薬によるショック（キシロカインショック）
- ・内視鏡操作や生検によっておこる出血や穿孔
- ・誤嚥による肺炎
- ・鼻から検査を受けた場合は、2～4%ほど鼻出血

日本消化器内視鏡学会の全国集計ではその頻度は 0.007%  
万一、偶発症が発生した場合は外科処置を含めた  
最善の処置をいたします。

⇒ 当院で止血処置をいたします

### 感染対策について

当院は生検で用いる生検鉗子を全て使い捨て（ディスポーザブル）にしています。

使用後の内視鏡は専用の機械で洗浄し、最も消毒効果のある「過酢酸」を用いて消毒をしています。

「過酢酸」は全ての細菌、ウイルス、真菌、芽胞などの微生物を殺菌することができ人体には影響はありません。

その他、ご不明な点がございましたら、院長またはスタッフへおたずね下さい。

